



三珠中学校校長室だより  
令和8年2月 5日発行  
No.41  
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



## 母校の先生方の愛情にあなたはどのように応えますか？

今年度に限らず、「三珠中の生徒が母校を訪ねて遊んでいる」という話をよく耳にします。懐かしい校舎、慣れ親しんだ先生。中学生になったみなさんにとって、そこはほんとに安心できる心のふるさとなのかもしれません。その気持ち自体は、とても尊いものだと思います。▼しかし、一方でこんな話も聞いています。「校庭で遊んでいた小学生を驚かせてしまうような行為」、「近隣の方が困ってしまうような行為」……。そのことに関わった人は決して悪意はなかったのでしょう。しかし、その行為によって誰かが困ったり、悲しい思いをしたりしたことは事実なのです。▼



母校で遊んでいてトラブルが起きたときに、真っ先に対応してくれるのが小学校の先生です。しかもその対応は、「外部の者に要らぬ迷惑をかけられた」という

スタンスではなく、「卒業生または地域の子どもを教育者として守ろう」という深い愛情に満ちた温かい対応をしてくれています。▼トラブルや苦情に対して小学校の先生方は「自慢の卒業生、あるいはこの地域の未来を担っていく大切な存在」を守るために、みなさんの見えないところで頭を下げてくれたり、温かい指導をしてくれています。それは卒業してからもなお、みなさんのことを『家族』として愛してくれているからこそだということを忘れないでほしいと思います。そして、同じ過ちを繰り返すことは、その温かさに甘え、自分の成長を止めてしまうことに他なりません。みなさん方に期待するのは、そんな先生方の尊い愛情に対して、先生方が誇れるような、そして小学生にとって『憧れの先輩』に映るような後ろ姿を見せてくれることです。リスペクトとは相手の優しさ・愛情に気づき、それに応えようとすることです。▼そこで、みなさんに1つ提案があります。もし、これから先、母校の校庭を使いたと思ったら、**まず職員室にいる先生方に『三珠中□年の○○です。校庭を使わせてもらってよろしいでしょうか？』と明るく挨拶をしてはどうでしょうか。**このワンアクションがあるだけで、小学校の先生方は「あっ、○○さんたちが来ているな」と安心しますし、挨拶をした人にとっても、こうして遊びに来ても温かく迎え入れてくれる先生方に「迷惑をかけないようにしては」という自制心をもつきっかけになるのではないのでしょうか。そして何より、みなさんのことを今でも大切にしてくれている小学校の先生方は、みなさんが挨拶をする姿を見て『自立した大人』へと歩み始めたことを誰よりも喜んでくれるはずです。▼みなさんが小学校へ遊びに行きたくなるのは、そこがみなさんの『心のふるさと』だからだと思います。小学校の先生方はそんなみなさんの気持ちを受けとめてくれ、温かく迎え入れてくれています。そして私たち三珠中の職員集団も、いつかみなさんが三珠中を卒業して、ふと三珠中学校を訪ねてきたときには、いつでも『お帰り』と温かく迎ええられる存在でありたいと考えています。

返すことは、その温かさに甘え、自分の成長を止めてしまうことに他なりません。みなさん方に期待するのは、そんな先生方の尊い愛情に対して、先生方が誇れるような、そして小学生にとって『憧れの先輩』に映るような後ろ姿を見せてくれることです。リスペクトとは相手の優しさ・愛情に気づき、それに応えようとすることです。▼そこで、みなさんに1つ提案があります。もし、これから先、母校の校庭を使いたと思ったら、**まず職員室にいる先生方に『三珠中□年の○○です。校庭を使わせてもらってよろしいでしょうか？』と明るく挨拶をしてはどうでしょうか。**このワンアクションがあるだけで、小学校の先生方は「あっ、○○さんたちが来ているな」と安心しますし、挨拶をした人にとっても、こうして遊びに来ても温かく迎え入れてくれる先生方に「迷惑をかけないようにしては」という自制心をもつきっかけになるのではないのでしょうか。そして何より、みなさんのことを今でも大切にしてくれている小学校の先生方は、みなさんが挨拶をする姿を見て『自立した大人』へと歩み始めたことを誰よりも喜んでくれるはずです。▼みなさんが小学校へ遊びに行きたくなるのは、そこがみなさんの『心のふるさと』だからだと思います。小学校の先生方はそんなみなさんの気持ちを受けとめてくれ、温かく迎え入れてくれています。そして私たち三珠中の職員集団も、いつかみなさんが三珠中を卒業して、ふと三珠中学校を訪ねてきたときには、いつでも『お帰り』と温かく迎ええられる存在でありたいと考えています。

